※令和４年度以降入学生用

学校番号	C2101

令和５年度　数学科

科目	数学Ⅱ	単位数	４	必要Ｓ出席数	４
使用教科書	新 高校の数学Ⅱ（数研出版）				
副教材等	なし				

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート	１２通	４	４	４
スクーリング	１６回	６	５	５
テスト	２回	○	○	×
課題・実習等	課題を与える可能性があります			

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・複素数、図形と方程式、三角関数、指数関数、対数関数、微分、積分などについて学びます。「数学Ⅰ」を発展させた内容で、他の数学科目に比べて計算や論理が難しいです。スクーリングへの出席以外に、自宅などでの学習時間を増やす必要があるでしょう。
・スクーリングと併せてＮＨＫ高校講座を視聴学習し、より理解を深めましょう。

2　学習の到達目標

複素数、図形と方程式、三角関数、指数関数、対数関数、微分、積分についての基礎知識の修得及び事象を数学的に考察する力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	いろいろな式，図形と方程式，指数・対数・三角関数及び微分・積分の考えにおける基本的な概念，原理・法則等を体系的に理解し，知識を身につけている。 いろいろな式，図形と方程式，指数・対数・三角関数及び微分・積分の考えにおいて，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，いろいろな式，図形と方程式，指数・対数・三角関数及び微分・積分における数学的な見方や考え方を身につけている。	いろいろな式，図形と方程式，指数・対数・三角関数及び微分・積分の考え方に関心をもつとともに，それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。

- 学習指導要領(第１章第７款の４)に則り，ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用する。
- 学年末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

範囲	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
Ⅰ	1章　複素数と方程式・2章　図形と方程式	・式と計算 ・複素数と2次方程式 ・高次方程式 ・点と座標 ・直線の方程式	ａ：いろいろな式の基本的な概念原理法則等を体系的に理解し，知識を身につけている。いろいろな式を表現・処理する仕方や推論方法などの技能を身につけている。 ｂ：事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりして数学的な考え方を身につけている。 ｃ：いろいろな式に関心をもち数学的論拠に基づいて判断しようとする。	定期考査	定期考査	課題
Ⅱ	3章　いろいろな関数	・三角関数 ・指数関数 ・対数関数	ａ：様々な関数の基本的な概念原理法則等を体系的に理解し，知識を身につけている。様々な関数を表現・処理する仕方や推論方法などの技能を身につけている。 ｂ：事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりして数学的な考え方を身につけている。 ｃ：様々な関数に関心をもち数学的論拠に基づいて判断しようとする。	定期考査	定期考査	課題
Ⅲ	4章　微分と積分	・微分係数と導関数 ・導関数の応用 ・積分の考え	ａ：微分積分の基本的な概念原理法則等を体系的に理解し，知識を身につけている。微分積分を表現・処理する仕方や推論方法などの技能を身につけている。 ｂ：事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりして数学的な考え方を身につけている。 ｃ：微分積分に関心をもち数学的論拠に基づいて判断しようとする。			課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度